



2016 - 2017 年度テーマ

R.I. テーマ 「人類に奉仕するロータリー」

R.I. 会長 ジョン・ジャーム

地区ガバナー 上山 昭 治

クラブテーマ 「関心をもって感動を分かち合おう」

クラブ会長 渡 辺 丈 樹



2017年5月31日

第 1497 回例会

会長 渡 辺 丈 樹

幹事 岩 田 幸 一

本日の卓話

会 員 卓 話

潮田会員、田村会員、山尾会員

今後の卓話予定

- 6/7 会員卓話・イニシエーションスピーチ
吉沼会員、磯本会員、丸岡会員
- 6/14 「ファッションについて」 一条ちえみ 様
- 6/21 本年度事業報告
- 6/28 最終夜間例会 会長、幹事挨拶 & 1500回 記念例会



6月結婚記念日

3日 (45周年) 上原ご夫妻 ・ 10日 (28周年) 高木ご夫妻

28日 (19周年) 斎藤ご夫妻

前回 (5/24 1496 回例会) の記録

来 訪 者 紹 介

- ◆ゲスト 2名 泉岳寺護寺会 会長 木村好雄 様、小林理恵子 様
- ◆ビジター 0名

出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
41名	0名	5名	36名	5名	87.8%	1494回例会修正 欠席0名・出席率100%

会長報告 <渡辺会長>

- ・自分の会社にお金を貸すことはよくあります。会社が資金的に苦しい場合、なかなか返してもらえません。これもよくあることです。そして、返してもらえない金額が数千万円になってしまっているケースも多くあります。通常ならば気にすることはないのですが、社長が亡くなってしまった場

合、大変な問題になります。亡くなった社長の財産として、この数千万円の貸付金に相続税がかかってしまうからです。もし返してもらえそうにないような場合、会社を清算してしまうことをお勧めします。仕事を継続するためには個人事業でも、あるいは新会社で新たに始めればよいのですから。

幹事報告 <岩田幹事>

- ・皆様、三社祭お疲れさまでした。

例会変更のお知らせが来ておりますので、事務所でご確認下さい。

委員会報告

<浜中次年度幹事>

- ・例会終了後に、第3回被選理事会を行いますので、理事・役員の方は、事務所に
お集まり下さい。

<ローターアクト委員会 山尾委員長>

- ・5月ローターアクト委員会をご案内しま
す。

- 5月31日(水) 18時45分受付

19時開会

- 台東区1丁目区民館 第3集会室
- 米山留学生のヴァンさんの卓話です。

<ローターアクト委員会 山尾委員長>

- ・当ローターアクトクラブの納会を下記日
時に開催します。

- 6月21日(水) 19時受付

19時30分開催

例会場は未定です。例会後に懇親会を予
定しています。

<親睦委員会 太田委員長>

- ・河村会員の「都鳥」での小炉辺会合を5月
30日夕方6時半より開催します。未2名位
余裕有。希望者は太田まで連絡下さい。

<親睦委員会 太田委員長>

- ・6月28日(水) 夕方6時半より最終例会・
1500回記念例会を開催します。本日出欠表
を回します。ご夫人の出席も歓迎いたしま
す。夜間例会です。

ニコニコボックス

<渡辺会長、岩田幹事>

- ・泉岳寺護国寺会会長の木村好雄様、本日の卓
話「忠臣蔵」、楽しみにしております。

<小林(雅)、伊石>

- ・本日卓話をしてくださる木村好雄様をご紹
介させて戴きます。

<山尾、丸岡、宮崎、浜中、古谷、永井、原田>

- ・木村様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

<永井、潮田、矢野>

- ・浅草神社例大祭三社祭が暑すぎましたが天
候にも恵まれ、無事に斎行できました。ご
協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

<天笠、後上、丸岡、吉沼、宮崎、斎藤、田村、 植木、磯本、原田、中村、海内、長沼、松本>

- ・三社祭、お疲れ様でした。!

<永井、後上>

- ・三社祭も天気に恵まれ無事終了しました。
矢野禰宜さん、潮田事務局長、ありがとう

ございました。

<中村、上原、斎藤、渡辺、浜中>

- ・クラブ活性化委員会の打合せ後、打ち上げ
を“なお太”で行いました。残金をニコニ
コ致します。

<原田>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難う
ございました。振り返れば42星霜。あっと
いう間であった様に思います。

<上原、岩戸、太田、宮村>

- ・東北復興支援をよろしくお願ひ致します。



「忠臣蔵」



泉岳寺護寺会 会長

木村好雄様

「忠臣蔵」とは何か。忠臣蔵は下記の三つの要素で成り立っています。

- (1) 赤穂事件……歴史上の事実（明治5年まで旧暦）
- ① 浅野内匠頭、吉良上野介に江戸城中で刃傷
(元禄14年3月14日 = 西暦1701年) 現在の4月21日
 - ② 赤穂の遺臣、吉良邸に討入り（日の出まで前日）
(元禄15年12月14日 = 西暦1702年) 現在の1月31日
 - ③ 四十六士切腹
(元禄16年2月4日 = 西暦1703年) 現在の3月20日
- (2) 「仮名手本忠臣蔵」大坂竹本座で初演（人形浄瑠璃）
(寛延元年8月14日 = 西暦1748年)
同年暮、大坂の嵐座で、翌年江戸の三座で歌舞伎上演
- ① 赤穂事件から47日目 ② かな手本……いろは47文字
 - ③ 忠臣のお手本が一杯入っている蔵 ④ 大石内蔵助の蔵
 - ⑤ 仮名（かめい）……登場人物の名前を変えている。
・浅野内匠頭長矩⇒塩谷判官高定 ・吉良上野介義央⇒高武蔵守師直
・大石内蔵助良雄⇒大星由良助 ・堀部安兵衛⇒織部安兵衛
・神崎与五郎⇒千崎弥五郎 ・大高源五⇒大鷲文吾など
- (3) 芝居、講談、浪曲、映画、テレビなどによる俗説、巷説
- ① 芝増上寺の昼替え ② 神崎与五郎、馬方に謝る
 - ③ 浅野内匠頭切腹のとき、片岡源五右衛門との別れと辞世の句
 - ④ 赤垣源蔵徳利の別れ（赤埴） ⑤ 宝井其角と大高源五
 - ⑥ 南部坂雪の別れ ⑦ 依星玄蕃と杉野十平次など

忠臣蔵（赤穂事件）はなぜ日本人の心をとらえたのでしょうか。

- (1) 大義、忠義のために自分の命を捨てた行動に対する感動
- (2) 大きな目的のために四十七人が、大石内蔵助の優れた指導力で最終的に一致団結して努力し、ついに本懐を遂げたという出来事
- (3) 日本人（人間）は「仇討ち物語」が好きである。
- (4) 権力者への仇討ちであった。 (5) 金持ちと、強欲への反感
- (6) 判官びいき 源義経……九郎判官、浅野内匠頭……塩谷判官高定
- (7) 桜から始まり、雪で終わった事件
- (8) 江戸から赤穂、京と日本列島を縦断し、桧舞台が江戸への花道
- (9) 登場人物が多い。天皇、将軍、浅野内匠頭、吉良上野介、四十七士など
 - ① 義士の年齢は、数え16歳の大石主税から77歳の堀部弥兵衛まで
 - ② 義士の身分は、筆頭城代家老大石内蔵助(千五百石)から三両二分二人扶持の足軽寺坂吉右衛門まで
- (10) 義士に当時の有名人が多い
 - ① 堀部安兵衛、奥田孫太夫、杉野十平次 ② 大高源五、吉田忠左衛門